



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第628号

2024年3月18日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

2024年度からの学校給食費保護者負担値上げ中止に

3月13日、予算審査特別委員会冒頭に小林伸夫教育長は「(学校給食費値上げの)一般質問と教育委員会予算審査での議論から、市長と話し合った結果、令和6年度は給食費値上げ分については全額市の負担とすることにした」と発言しました。市は2024年度から給食費保護者負担の値上げを計画し、議会で審議していましたが、これを断念しました。市が値上げ計画を審議途中で撤回するのは異例のことです。

小中の子ども2人で年間6000円負担増・保護者に説明なし

市は2024年度の学校給食費を小学校1食につき45円、中学校53円の値上げを決め、値上げ分の3分の2は市が負担し、3分の1は保護者負担にする予算案を提出し議会で審議中でした。ところがこの時点でも保護者に値上げの説明は一切されていません。

日本共産党は一般質問で「突然の給食費値上げは、保護者が納得できるものではない」「中学生と小学生の子ども2人の場合は、年間2800円と3200円で合計6000円の負担増に悲痛な声がある」と訴え、「乱暴な値上げだ」「全国的な給食費の無償化の流れに逆行している」ときびしく批判し、値上げの負担撤回を求めました。

市民の怒りと学校給食費無料化の大きな流れが背景に

市が2024年度からの値上げを中止した背景には、市民の怒りと全国的な学校給食費無償化の大きな流れがあります。東京23区は2024年度から全ての区が無償化されます。千葉県下でも別表の通り無償化が広がっています。物価高騰で給食費の値上げを行う自治体でも保護者負担をさせずに、自治体負担としています。さすがに八千代市だけが保護者に負担を求めることはできなかったのではないのでしょうか。

据え置きに安堵の声と無償化を求める声

2024年度からの「値上げ分の保護者負担はなくなりました」と保護者の方に伝えると「え!本当ですか?」「安心しました」と安堵の声がありました。

しかし、学校給食費が大きな負担となっていることには変わりありません。八千代市では、就学援助受給者や第3子以降などの給食費無償化は約15%、残りの85%の子ども達は給食費の負担が強いられています。

日本共産党は引き続き八千代市で全ての子どもたちの給食費無償化を強く求めていきます。

表1: 千葉県内の給食費への対応状況

※日本共産党八千代市議団調べ(2024年3月18日時点)

●値上げ分を自治体で負担

・市川市(そもそも全員無償化)・柏市・鎌ヶ谷市・白井市・松戸市・我孫子市

●無償化(3市10町)

・市川市・勝浦市・いすみ市・神崎町・多古町・東庄町・九十九里町
・芝山町・横芝光町・長柄町・長南町・大多喜町・鋸南町

●時限的無償化

・船橋市・浦安市・松戸市・八街市(2024年1月~3月)・柏市(2023年11月~2024年1月)
・銚子市(2023年10月~2024年3月)・旭市(2023年7月・9月~2024年3月)